

平成19年度 再評価対象事業一覧表

平成19年6月18日作成

整理 番号	事業計画							再評価の 理由	再評価の視点												前回審議 年度	対応方針 (原案)	
	事業名	施設名	事業 主体	事業箇所	事業概要	工 期			事業費 (億円)	事業進捗の状況及び見込み					関連事業 の状況	社会経済 情勢の変化	地元等 の意向	費用対効果分析					コスト削減 及び 代替案立案の 可能性の有無
						着工	完了			進捗率	用地 進捗率	H19年度 事業費	H20年度 以降事業	B／C				分析基礎の 要因の変化					
														当初					現行				
																				上段：当初			
土木部																							
道路建設課																							
道建 一1	道路改築事業	主要地方道平戸田 平線(根獅子工区)	県	平戸市	延長1,660m、幅員5.5(9.25)m	H10	H19	10.0	事業採択後 10年経過	10.9	78	98	2.0	1.1	特に無し	・用地取得に不測の時間を 要し完成年度が1年遅延 ・地滑り地帯の対策工事業 費が増大し、全体事業費が 増	数年に渡り、地元 自治会より早期 完成を望む 要望有り	1.22	1.16	・完成年度の遅延 によるもの ・事業費の見直し によるもの	・道路幅員の見 直しを行いコスト 削減に努めた。今 後も更なる縮減 に努める。 ・進捗率は高く 代替案の可能性 はない。	－	継続
H10	H20	14.0																					
道路維持課																							
道維 一1	道路改築事業	市道尾浦線	市	対馬市 厳原町	延長1.85km、幅員5.5(7.0)m	H10	H19	9.9	事業採択後 10年経過	9.2	66	95	0.4	4.4	特に無し	事業実施にあたり、切土 部の土質を精査した結 果、岩盤部の切土勾配を 6分から8分に変更した。 これに伴い残土処理費及 び法面保護工費が増と なった。また、事業途中 (H12)に建設リサイクル法 が施行され、当初は計画 されていない建設廃材処 分費(伐根材等)が必要と なった。以上の理由により 事業費が増え計画期間の 延長が必要になった。	事業の早期完 成を切望してい る	1.58	1.09	完成年度の遅延 及び事業費増によ るもの	今後も可能な 限りコスト削減 を図る。 代替案の可能 性はない。	－	継続
H10	H24	14.0																					
道維 一2	道路改築事業	市道佐保田線	市	対馬市 豊玉町	延長2.12km、幅員5.5(8.75)m	H10	H19	22.3	事業採択後 10年経過	17.3	78	98	0.5	4.5	総合流域防災 事業(H14～ H25)	H14年に当路線に隣接す る田川総合流域防災事業 (事業主体・県)が着手さ れたため、事業調整を 行っていたが、河川を移 設するための一部の用地 取得に時間を要しており、 当路線の事業期間の延 期が必要となった。	事業の早期完 成を切望してい る	1.63	1.23	完成年度の遅延 によるもの	今後も可能な 限りコスト削減 を図る。 代替案の可能 性はない。	－	継続
H10	H24	22.3																					
港湾課																							
港湾 一1	肥前大島港改修事 業	寺島地区 国内物流ターミナル 整備	県	西海市 大島町	防波堤 100m 護岸(防波) 75m 泊地(～7.5m) 18,680m2 岸壁(～7.5m) 130m 道路(B) 6m×1,430m ふ頭用地 6,300m2	H10	H22	38.6	事業採択後 10年経過	31.1	80.5	90	0.8	6.7	特に無し	貨物量については、年度 毎で多少のばらつきがあ るが、順調に取り扱いは 行われている。	早期供用開始 が望まれている。	－	1.23	－	可能な限りコスト 削減を図る 代替案の可能 性はない	－	継続
H10	H22	38.6																					
港湾 一2	江迎港海岸保全事 業	江迎地区 高潮対策事業	県	北松浦 郡江迎 町	護岸(補強) 370m (S61 ～ H10) 護岸(改良) 870m (H10 ～ H21)	S61	H21	17.6	事業採択後 10年経過	15.6	88.4	－	0.4	1.6	特に無し	護岸背後には工場もあり 、護岸の老朽化も進行し ている。整備の要望も依 然として高く早期の完成 が望まれている。	早期の事業効 果発現を望ま れている。	－	1.41	－	可能な限りコスト 削減を図る 代替案の可能 性はない	－	継続
S61	H21	17.6																					

平成19年度 再評価対象事業一覧表

平成19年6月18日作成

事業計画									再評価の視点														前回審議 年度	対応方針 (原案)
整理 番号	事業名	施設名	事業 主体	事業箇所	事業概要	工 期			再評価の 理由	事業進捗の状況及び見込み					関連事業 の状況	社会経済 情勢の変化	地元等 の意向	費用対効果分析			コスト削減 及び 代替案立案の 可能性の有無			
						着工	完了	事業費 (億円)		前年度迄 事業費 (億円)	進捗率 (%)	用地 進捗率 (%)	H19年度 事業費 (億円)	H20年度 以降事業 (億円)				B/C	分析基礎の 要因の変化					
																				上段：当初		下段：変更		
河川課																								
河川 ー1	総合流域防災事業	宮村川	県	佐世保 市	工事延長L=2,500m 河床掘削、護岸、橋梁架替 等	S40	H19	23.0	再評価後 5年経過	20.4	89	76	0.0	2.6	特に無し	ハウステンボスが隣接し ており、宅地開発が進ん でいる。 工期の変更：他河川への 重点配分による予算配分 の見送り。	洪水氾濫被害 に対する安全 確保のため、河 川改修事業の 早期完成が望 まれている。	6.30	6.22	算出手法の変更	可能な限りコスト 削減を図る。 上流にダム適 地がないなど 比較して決定し ている。	H14	継続	
S40	H25	23.0																						
河川 ー2	総合流域防災事業	け知川	県	対馬市	工事延長L=2,200m 河床掘削、護岸、橋梁架替 等	H1	H19	23.0	再評価後 5年経過	19.9	87	98	0.7	2.4	特に無し	主たる開発計画もなく、人 口の変動も少ない。 工期の変更：一部用地交 渉が難航したため。	洪水氾濫被害 に対する安全 確保のため、河 川改修事業の 早期完成が望 まれている。	1.44	1.55	算出手法の変更	可能な限りコスト 削減を図る。 上流にダムが 整備済みで代 替案はない。	H14	継続	
H1	H25	23.0																						
河川 ー3	総合流域防災事業	神浦川	県	長崎市	工事延長L=1,750m 河床掘削、護岸、堰改築等	H2	H20	16.2	再評価後 5年経過	11.8	73	98	0.0	4.4	特に無し	沿川の宅地化が進み、上 流の県民の森の整備等に より観光客が増加してい る。 工期の変更：全体的な事 業費の縮減による。	洪水氾濫被害 に対する安全 確保のため、河 川改修事業の 早期完成が望 まれている。	3.94	3.44	算出手法の変更	可能な限りコスト 削減を図る。 上流にダムが 整備済みで代 替案はない。	H14	継続	
H2	H23	16.2																						
河川 ー4	総合流域防災事業	有喜川	県	諫早市	工事延長L=1,750m 河床掘削、護岸、橋梁架 替、堰改築等	H5	H21	30.6	再評価後 5年経過	21.2	69	75	0.7	8.7	特に無し	主たる開発計画もなく、人 口の変動も少ない。 工期の変更：全体的な事 業費の縮減による。	洪水氾濫被害 に対する安全 確保のため、河 川改修事業の 早期完成が望 まれている。	6.14	5.33	算出手法の変更	可能な限りコスト 削減を図る。 上流にダム適 地がないなど 比較して決定し ている。	H14	継続	
H5	H24	30.6																						
砂防課																								
砂防 ー1	地すべり対策事業	鷲尾岳地区	県	江迎町	集水井工 29基 集水ボーリング 790本 排水ボーリング工 29本 横ボーリング工 21本 深礎工 36本 アンカー工 224本	S32	H30	97.4	再評価後 5年経過	82.9	82.5	70	1.2	16.3	特に無し	対策工着手以降、地すべ りの変動量は減少してい るが、排水隧道において は地すべりによる変状が 顕著に現れている。また、 深礎工に作用している応 力も年々増加しており、地 すべり活動は今なお継続 している。今後も観測、 データ収集を行いながら 地すべり対策工及び排水 隧道の改築を行い、事業 の概成をめざす。	地すべり対策工 工事の早急な 概成	1.12	1.41	被害想定区域内 を再精査し、受益 戸数の修正をおこ なった。	抑制工の効果 を継続的に観 測しながら施設 配置等を随時 見直し、コスト の縮減に努め る	H14	見直し 継続	
					集水井工 31基 集水ボーリング 844本 排水ボーリング工 31本 横ボーリング工 21本 深礎工 36本 アンカー工 224本 法面工 A=3,000m2 隧道改築工 L=398.5m	S32	H30	100.4																

平成19年度 再評価対象事業一覧表

平成19年6月18日作成

整理 番号	事業計画							再評価の 理由	再評価の視点												前回審議 年度	対応方針 (原案)	
	事業名	施設名	事業 主体	事業箇所	事業概要	工 期			事業費 (億円)	事業進捗の状況及び見込み					関連事業 の状況	社会経済 情勢の変化	地元等 の意向	費用対効果分析		コスト削減 及び 代替案立案の 可能性の有無			
						着工	完了			進捗率	用地 進捗率	H19年度 事業費	H20年度 以降事業	B/C				分析基礎の 要因の変化					
																			上段：当初				下段：変更
住宅課																							
住宅 ー1	密集住宅市街地整備促進事業	稲佐・朝日地区	市	長崎市	道路・公園の整備、共同住宅の建設、老朽住宅の除却等	H10	H19	47.0	事業採択後 10年経過	12.6	27	19	1.0	33.4	特に無し	平成7年から平成17年で人口は19%減、世帯は12%減、高齢化率は9%増加している。	平成8年度にまちづくり協議会が発足し、協議会を中心とした協議会、勉強会等の活動を継続的に行っている。まちづくりや本事業目的の認識も高く、また住民参加のまちづくりに積極的に取り組んでおり、事業推進のための理解・協力は十分なものである。	－	1.41	当初算出なし	・事業推進の効率化等による事業期間の短縮を図る。 ・生活道路等公共施設の路線設計、施工計画において、建設コストの削減に努める。 ・代替案の可能性はない	－	継続
						H10	H24	47.0															
都市計画課																							
都市 ー1	街路事業	栄上為石線	県	長崎市	＜1工区＞ 延長L=470m 幅員W=16m ＜全体＞ 延長L=1,510m 幅員W=16m 長崎市の中心部と長崎半島東側を結ぶ県道深堀三和線の交通混雑緩和を図るため、道路の拡幅を行っている。	H5	H15	22.0	再評価後 5年経過	23.6	100	100	0.0	0.0	H18国道499号交差点供用開始 H18東海岸通り線事業開始	なし	地元から早期完成が望まれている。	1.52	1.10	完成年度の遅延によるもの	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性は無い。	H14 (1工区)	継続
						H5	H19	23.6															
						H5	H19	45.1															
						H5	H22	45.1															
都市 ー2	街路事業	久原池田線	県	大村市	延長1,300m 幅員16m 国道34号の交通渋滞緩和を図るとともに、地域の街づくりに大きな役割を担う。	H10	H20	56.0	事業採択後 10年経過	48.2	78	93	7.3	6.5	大村市施工の久原池田線(武部工区)・田ノ平線を平成19年5月末に供用予定である。	久原工区が既に供用しており、武部工区も供用開始を予定しているため、久原池田線の交通量の増加が見込まれる。	地元から早期完成が望まれている。	－	2.71	当初算出なし	切り盛りの土量バランスをとり、工費の軽減を図っている。 代替案の可能性は無い。	－	継続
						H10	H22	62.0															
都市 ー3	街路事業	厳原豆酸美津島線	県	対馬市 厳原町	延長560m 幅員16m 対馬市厳原町中心市街地を縦貫する道路であり、交通混雑の緩和、歩行者の安全を確保し、道路周辺の発展及び生活環境の向上に寄与する。	H10	H19	15.0	事業採択後 10年経過	21.4	76	83	1.4	5.2	今屋敷地区第一種市街地再開発事業に伴う対馬市交流センター平成18年10月7日オープン	平成16年3月1日対馬6町が合併し、対馬市となる。	地元から早期完成が望まれている。	－	1.06	当初算出なし	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性は無い。	－	継続
						H10	H24	28.0															

平成19年度 再評価対象事業一覧表

平成19年6月18日作成

整理 番号	事業計画							再評価の 理由	再評価の視点											前回審議 年度	対応方針 (原案)							
	事業名	施設名	事業 主体	事業箇所	事業概要	工 期			事業費 (億円)	事業進捗の状況及び見込み					関連事業 の状況	社会経済 情勢の変化	地元等 の意向	費用対効果分析				コスト削減 及び 代替案立案の 可能性の有無						
						着工	完了			進捗率	用地 進捗率	H19年度 事業費	H20年度 以降事業	B/C				分析基礎の 要因の変化										
																			上段：当初				下段：変更	(億円)	(%)	(%)	(億円)	(億円)
農林部																												
農村整備課																												
農整 ー1	地域水田農業支援 排水対策特別事業	松崎西	県	諫早市	受益面積 256ha 排水路 2,248m 排水機場 1箇所	H2	H21	28.9	事業採択後 10年経過	21.1	72	100	5.3	3.1	排水対策特別 事業(小野島地 区)平成10年度 完了 排水対策特別 事業(松崎東地 区)平成16年度 完了 経営体育成基 盤整備事業(旧 土地総)(小野 西地区)平成15 年度完了	本地域においては、平成 18年度に集落営農組織が 設立され地域農業の担い 手組織として農作業の受 託や共同化を目指してい る。事業工期は変更なし。	受益者、地域住 民、諫早市とも に早期完成を 望んでいる。	1.05	1.05	該当なし (物価変動よる事 業費の増)	○コスト削減 ①ブロック積みの 裏込材(間隙充 填材)に再生ク ラッシュランを使 用。 ②本明川へ排 水するための 樋管について は既設の葎原 樋管を利用。 ○代替案の可 能性はない。	ー	継続					
H2	H21	29.5																										
農整 ー2	地域水田農業支援 排水対策特別事業	赤崎	県	諫早市	受益面積 85ha 排水路 3,591m	H9	H20	18.0	事業採択後 10年経過	16.8	87	100	1.3	1.2	かんがい排水 事業(小野東地 区)平成18年度 完了 排水対策特別 事業(梅崎地 区)平成17年度 完了 排水対策特別 事業(黒崎地 区)平成20年度 完了予定	本地域においては、平成 18年度に集落営農組織が 設立され、地域農業の担 い手組織として農作業の 受託や共同化を目指して いる。事業工期は変更な し。	受益者、地域住 民、諫早市とも に早期完成を 望んでいる。	1.36	1.29	仮設計画変更によ る事業費の増	○コスト削減 ①ブロック積みの 裏込材(間隙充 填材)に再生ク ラッシュランを使 用。 ②現地発生土 (潟土)につい ては、近隣農地 の嵩上げ土とし て活用。 ○代替案の可 能性はない。	ー	継続					
H9	H20	19.4																										
農整 ー3	畑地帯総合整備事 業(担い手育成型)	山田原	県	雲仙市	受益面積 99ha 区画整理 99ha 畑地かんがい 97ha	H9	H18	25.9	再評価後 5年経過	27.7	79.0	99	2.5	4.7	特に無し	市の農業は、馬鈴薯を中 心とした重要な基幹産業 であり、地区内ではプロコ リー等の新規導入もなさ れている。認定農業者も 平成9年の25名から平成 18年時点で50名へと増加 し、農業の活性化が図ら れている。事業工期は畑 かん面積の追加により3 年延長。	受益農家・住民 及び雲仙市に おいても早期 の事業完了を切 望している。	1.19	1.15	畑かん面積の追 加による事業費の 増。	○コスト削減 ①設計基準の 改定に伴い、畑 かんを浅埋設 に変更。 ②排水路につ いては石積水 路としている。 ○代替案の可 能性はない。	H14	継続					
H9	H21	34.8																										
農整 ー4	農村振興総合整備 事業	開	県	諫早市	受益面積 205ha 主要工事計画 ほ場整備 42ha 農業集落道整備 1,379m 農業集落排水路整備 2,087m 用地整備 3.7ha(4箇所) 集落防災安全施設整備 7箇所 農村公園整備 0.7ha(2箇 所) 集落緑化施設整備 0.1ha(1箇所)	H9	H18	13.8	再評価後 5年経過	12.3	81.0	100	0.6	2.2	①江ノ浦川河 川改修事業 平成18年度時 点 45% ②特定環境保 全公共下水道 事業 H21着工予定	・整備済みの農地におい ては、水稻だけでなく馬鈴 薯の作付け、施設園芸 (電照菊・キュウリ)が導入 され事業効果が発現して いる。認定農業者も平成7 年の67名から平成17年時 点で116名へと増加し、農 業の活性化が図られてい る。事業工期は建設残土 の必要量の確保が出来 ず3年延長。	受益農家・住民 及び諫早市に おいても早期 の事業完了を切 望している。	1.19	1.03	運土量の増加によ る事業費の増	○コスト削減 ・構造物基礎に 再生クラッシュ ランを使用。 ・水路護岸に現 採石材を利用。 ・客土材として、 建設残土を利 用。 ○代替案の可 能性はない	H14	継続					
H9	H21	15.2																										

平成19年度 再評価対象事業一覧表

平成19年6月18日作成

整理 番号	事業計画								再評価の 理由	再評価の視点											前回審議 年度	対応方針 (原案)		
	事業名	施設名	事業 主体	事業箇所	事業概要	工 期		事業費 (億円)		事業進捗の状況及び見込み					関連事業 の状況	社会経済 情勢の変化	地元等 の意向	費用対効果分析		コスト縮減 及び 代替案立案の 可能性の有無				
						着工	完了			前年度迄 事業費 (億円)	進捗率 (%)	用地 進捗率 (%)	H19年度 事業費 (億円)	H20年度 以降事業 (億円)				B/C	分析基礎の 要因の変化					
																							上段：当初	下段：変更
農整 ー5	中山間総合整備事 業	上県	県	対馬市	受益面積 101.3ha 農業用排水 2,351m 農道整備 4,707m ほ場整備 26.8ha 農地防災 3ヶ所 農業集落道 1,759m 農業集落排水 391m	H9	H15	40.3	再評価後 5年経過	36.5	91	100	1.4	2.1	特に無し	市の農家数が減少する 中、認定農業者は平成12 年の25名から平成17年時 点で57名へと増加し、営 農に意欲のある農業者が 増加している。事業工期 は環境調和型ほ場整備 検討委員会の答申に従 い、ほ場整備を分割複数 年施工としたことにより6 年延長。	受益農家・住民 及び対馬市に おいても早期の 事業完了を切 望している。	1.05	1.03	地区除外等を含 む計画変更を平 成18年度に実施 したことにより事業 費の減。	○コスト縮減 ・伐採木をチッ プ化し、それを 法面の緑化材 として使用。 ・道路工事の捨 土をほ場整備 工事へ流用し て有効利用。 ○代替案の可 能性はない	H14	継続	
						H9	H21	40.0																
農整 ー6	地すべり対策事業	佳路	県	平戸市	水路工 200m 水抜ボーリング 150孔 杭打工 100本 アンカー工 250本 集水井工 2ヶ所 法枠工 4,000㎡	H9	H20	5.8	再評価後 5年経過	4.3	76	—	0.3	1.1	特に無し	本地域の農業は重要な基 幹産業であり、地区内 には生活道路としての市道 や、多数の民家もあり、地 すべり防止は必要不可欠 である。事業工期は変更 なし。	受益者、平戸市 とも早期完成、 早期効果発現 を切望している	3.33	3.37	該当なし (物価変動による 事業費の減)	○コスト縮減な し ○代替案の可 能性はない	H14	継続	
						H9	H20	5.7																
農整 ー7	地すべり対策事業	座木第二	県	南島原 市	杭打工 235本 水抜ボーリング 52孔 排水路工 2,540m	H9	H20	6.8	再評価後 5年経過	5.2	79	100	0.3	1.2	特に無し	本地域の農業は重要な基 幹産業であり、地区内 には生活道路としての県道 や、多数の民家も集中し ており、地すべり防止は必 要不可欠である。事業工 期は変更なし。	受益者、南島原 市とも早期完 成、早期効果発 現を切望してい る	1.38	1.43	該当なし (物価変動による 事業費の減)	○コスト縮減な し ○代替案の可 能性はない	H14	継続	
						H9	H20	6.7																

平成19年度 再評価対象事業一覧表

平成19年6月18日作成

整理 番号	事業計画						再評価の 理由	再評価の視点														前回審議 年度	対応方針 (原案)								
	事業名	施設名	事業 主体	事業箇所	事業概要	工 期			事業進捗の状況及び見込み					関連事業 の状況	社会経済 情勢の変化	地元等 の意向	費用対効果分析		コスト縮減 及び 代替案立案の 可能性の有無												
						着工		完了	(億円)	前年度迄 事業費	進捗率	用地 進捗率	H19年度 事業費				H20年度 以降事業	B／C		分析基礎の 要因の変化											
																					上段：当初			下段：変更	(億円)	(%)	(%)	(億円)	(億円)	当初	現行
環境部																															
水環境対策課																															
水対 ー1	公共下水道事業	長崎市公共下水道事業、 長崎市特定環境保 全公共下水道事業	市	長崎市、 長与町の一部	計画区域 7,138ha(汚水) 計画区域 1,146ha(雨水) 計画人口 490,160人 計画汚水量(日最大) 130,360m3/日	S28	H29	4305.4	再評価後 10年経過	3443.3	62	97	51.5	2077.4	農業集落排水 事業(小口、大 江・形上、大 子、琴海中部、 太田尾、黒浜・ 以下宿、高浜 本村地区)(H4 ～H18)。 漁業集落排水 事業(南風泊、 野々串、野母、 樺島地区)(S60 ～H9)。浄化槽 設置整備事業 (H4～継続)	平成18年に1市7町による 合併を完了。公共用水域 及び住環境の保全のため 下水道事業を継続して推 進することにより変わりなし。	当初から事業 に対する関心 は高く、未整備 地区では早期 整備の要望が 強い。	ー	2.34	当初算出なし	ー	H10	継続								
					S28	H35	5572.2																								
水対 ー2	公共下水道事業	佐世保市公共下水 道事業	市	佐世保 市	計画区域 4,777ha(汚水) 計画区域 1,051ha(雨水) 計画人口 190,000人 計画汚水量(日最大) 121,192m3/日	S24	H17	1047.6	再評価後 10年経過	791.3	49	100	32.2	786.5	合併浄化槽設 置整備事業(個 人設置型)を昭 和63年度から 実施しており、 年間約200～ 300基(累計 3,300基)の設 置補助を行っ ている。	西部処理区は相浦川を 流域とするが、未整備で あり相浦川が流れ込む九 十九島海域の水質への 影響が懸念される。 このため、平成17年度 から公共下水道事業及び 浄化槽整備事業による汚 泥処理施設整備を促進 し、九十九島海域の環境 を保全するとともに、市民 の生活環境を向上させ、 自然環境と調和した暮ら しの実現を目指している。 平成18年度末の普及率 は61.4%で、全国同規模 都市の中でも低い状況に あり、環境の保全、市民 ニーズに応えるためにも、 下水道整備の早期完成 が望まれる。	・地元住民の反 対運動なし。 ・未整備地区に おいても下水道 の早期整備の 要望が強くなっ ている。	ー	1.60	当初算出なし	ー	H10	継続								
					S24	H37	1610.0																								

平成19年度 再評価対象事業一覧表

平成19年6月18日作成

整理 番号	事業計画							再評価の 理由	再評価の視点												前回審議 年度	対応方針 (原案)				
	事業名	施設名	事業 主体	事業箇所	事業概要	工 期			事業費 (億円)	事業進捗の状況及び見込み					関連事業 の状況	社会経済 情勢の変化	地元等 の意向	費用対効果分析					コスト縮減 及び 代替案立案の 可能性の有無			
						着工	完了			前年度迄 事業費 (億円)	進捗率 (%)	用地 進捗率 (%)	H19年度 事業費 (億円)	H20年度 以降事業 (億円)				B/C	分析基礎の 要因の変化							
																				上段：当初				下段：変更	当初	現行
水対 ー3	公共下水道事業	諫早市公共下水道 事業 (諫早湾処理区)	市	諫早市	計画区域 1,243ha 計画人口 67,000人 計画汚水量(日最大) 46,260m ³ /日	S57	H22	649.7	再評価後 10年経過	378.0	63	100	12.0	208.6	諫早湾流域に おいては、平成 18年度末まで に6箇所の農業 集落排水事業 の供用開始を 図っている。 また、公共下水 道・農業集落排 水処理施設等 の整備が遅延 する区域及び 困難な地域を 対象に、個人型 浄化槽の整備 を促進してい る。	諫早市は平成17年3月に 近隣5町と市町村合併を 行っており、経済情勢が 大きく変化していく中で、 事業の実施にはより一層 の効率性が求められてい る。	事業に対する 関心は非常に 高く、未整備区 域においても下 水道の早期整 備の要望が強 い。	－	1.52	当初算出なし	－	H10	継続			
						S57	H32	598.6																		
水対 ー4	公共下水道事業	大村市公共下水道 事業	市	大村市	計画区域 2,386ha 計画人口 93,000人 計画汚水量(日最大) 62,000m ³ /日	S49	H20	675.8	再評価後 10年経過	593.0	72	100	16.0	216.0	平成2年度より 農業集落排水 事業による整 備は平成13年 度には前7地区 が事業完了し、 供用開始になっ ている。公共下 水道及び農業 集落排水事業 の整備区域外 は、合併処理 浄化槽等の補 助制度で対応 して、汚水衛生 処理施設の整 備を推進してい る。	大村市は長崎県のほぼ 中央に位置し、交通網の 要所ともなっている。当該 処理区は平成12年度に 全体計画の見直しを行 い、計画区域の拡大を図 り、鋭意推進をする。	事業に対する 関心は非常に 高く、未整備区 域においても下 水道の早期整 備の要望が強 い。	－	1.77	当初算出なし	－	H10	継続			
						S49	H32	825.0																		
水対 ー5	公共下水道事業	時津町公共下水道 事業	町	時津町	全体計画(平成30年度) 計画区域 571.10ha 計画人口 36,200人 計画汚水量(日最大) 20,200m ³ /日	S59	H17	184.5	再評価後 10年経過	183.6	83.9	100	7.2	27.9	下水道区域外 浄化槽設置整 備事業(個人設 置)→平成16年 度から特定地 域生活排水処 理事業に着手	平成17年度から地域再生 計画(自然と町並みが調 和のとれた住みたい町) の認定を受け特定地域生 活排水処理事業(浄化 槽)と併せて汚水処理施 設整備交付金でも整備 中。	普及率92.1%と なっており、未整備 地区の要望は 強い	－	1.34	当初算出なし	－	H10	継続			
						S59	H30	218.7																		
水対 ー6	公共下水道事業	長与町公共下水道 事業	町	長与町	計画区域面積 918.2ha 計画処理人口 11,600人 計画汚水量(日最大) 18,000m ³ /日	S48	H20	179.6	再評価後 10年経過	184.7	85	100	1.4	32.1	特に無し	環境保護推進により処理 区域の拡大	事業推進	－	1.62	当初算出なし	－	H10	継続			
						S48	H30	218.2																		

平成19年度 再評価対象事業一覧表

平成19年6月18日作成

整理 番号	事業計画							再評価の 理由	再評価の視点											前回審議 年度	対応方針 (原案)				
	事業名	施設名	事業 主体	事業箇所	事業概要	工 期			事業費 (億円)	事業進捗の状況及び見込み					関連事業 の状況	社会経済 情勢の変化	地元等 の意向	費用対効果分析				コスト削減 及び 代替案立案の 可能性の有無			
						着工	完了			前年度迄 事業費 (億円)	進捗率 (%)	用地 進捗率 (%)	H19年度 事業費 (億円)	H20年度 以降事業 (億円)				B／C					分析基礎の 要因の変化		
																		上段：当初	下段：変更					当初	現行
水対 ー7	公共下水道事業	川棚町公共下水道 事業	町	川棚町	計画区域面積 324ha 計画処理人口 11,600人 計画汚水量(日最大) 5,336m ³	H1	H20	134.0	再評価後 10年経過	108.4	75	100	3.1	32.8	川棚町では、昭和62年度より浄化槽事業での整備に着手し、平成18年度末現在で1,160基設置済みである。公共下水道事業整備区域以外については、今後とも浄化槽事業での整備を図っていく。	川棚川や大村湾が、急速な都市化により汚濁、水質悪化は危惧するところがあります。そのため、下水道の普及により恵まれた自然環境を守り、後世に受け継ぎ、住まい理想の町づくりのためにも、経済情勢は厳しくなっているが下水道事業の推進は必要不可欠。	下水道事業に対する関心は高く、未整備地区においても早期整備の要望が強くなっている。	－	1.23	当初算出なし	－	H10	継続		
						H1	H31	144.3																	
水対 ー8	公共下水道事業	島原市特定環境保全公共下水道事業 (有明処理区)	市	島原市	計画面積248.0ha 計画人口10,100人 計画汚水量(日最大) 4,900m ³ /日	H15	H32	118.3	事業採択後 5年未着手	0.0	0	0	0.0	118.3	特に無し	H18年1月1日島原市と有明町が合併。下水道事業については、新市で取り組む。	地元の下水道事業に対する要望は高い。	1.25	1.20	完成年度の遅延	－	－	継続		
						H15	H36	118.3																	